

先生のための 金融教育セミナー

高等学校・
大学向け

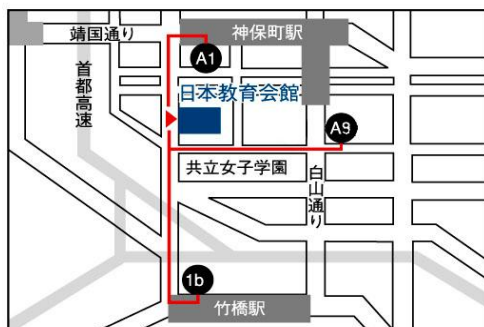
日時

2015. **8.11** (火)
9:30~16:10

会場



日本教育会館（東京都千代田区）



地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線
神保町駅（A1出口） 徒歩3分
地下鉄都営三田線神保町駅（A9出口） 徒歩5分
東京メトロ東西線竹橋駅（1b出口） 徒歩5分

生徒や大学生におかねとの正しい関係を伝え、現実社会を生きる力を育むために、金融教育について考えてみませんか？

当セミナーでは、基調講演や鼎談、実践発表やワークショップなどを通じて、金融教育の実践に向けた手がかりをご紹介します。

定員

150名程度

（先着順。定員になり次第、締切ります）

※参加費無料。

交通費・宿泊費・飲食代は参加者負担。

宿泊予約等は各自でお取りください。

対象

全国の小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・
高等専修学校・特別支援学校（学級）・大学の教員、
教育委員会指導主事、および教職を目指す大学生・大学院生

プログラムは変更になる場合があります。

午前のプログラム

午後のプログラム（高等学校分科会・大学分科会）は裏面をご覧ください。

来賓挨拶 文部科学省初等中等教育局 教育課程課長

基調講演 生徒・学生の生きる力と学校における金融教育（仮題）

国立教育政策研究所 大杉 昭英 初等中等教育研究部長

鼎談 『金融教育プログラム』年齢層別目標の改訂と活用のポイント（仮題）

国立教育政策研究所 大杉 昭英 初等中等教育研究部長 青山学院大学 小高 さほみ 非常勤講師
金融広報中央委員会 事務局長 丹治 芳樹

お申し込みはFAX・メールにて受け付けます。FAXの場合は、裏面の応募欄に必要事項をご記入のうえ、送信してください。メールの場合は、FAX応募欄と同じ内容を記載のうえ、下記セミナー事務局のメールアドレスにお送りください。

※ご参加頂ける方には、後日、参加証を送付します。当日必ずご持参ください。

先生のための金融教育セミナー事務局

FAX 03-6431-9938

メール seminar2015@smet.jp

お問い合わせ用TEL

03-6431-9943

（平日10:00~18:00受付）

8月12日（水）には、小学校・中学校向けのセミナーを開催します。詳しくはセミナー事務局までご連絡頂くか、知るぽるとホームページをご覧ください。

後援

文部科学省、金融庁、消費者庁、東京都教育委員会、全国公民科・社会科教育研究会、
全国家庭科教育協会、日本消費者教育学会、経済教育ネットワーク、日本銀行

知るぽると

www.shiruporuto.jp

金融広報中央委員会
（事務局 日本銀行情報サービス局内）

午後の分科会プログラム	12:20~16:10	プログラムは変更になる場合があります。
≪高等学校分科会1≫ 定員：40名程度 進行・コメント 国立教育政策研究所 大杉 昭英 初等中等教育研究部長	実践発表・ワークショップ① 東京都立国際高等学校 宮崎 三喜男 主任教諭 テーマ：リスクとリターンについて考えよう	
	実践発表・ワークショップ② 昭和音楽大学 梶ヶ谷 穰 非常勤講師 (元 神奈川県立海老名高等学校 教諭) テーマ：「企業」学習から「金融」学習へ！～企業の『CSR報告書』を活用した「パーソナルファイナンス」へのアプローチ、公民科、総合的な学習の時間、そしてサークル活動等での実践を通して～	
≪高等学校分科会2≫ 定員：40名程度 進行・コメント 実践女子大学 高橋 ヨシ子 教授	実践発表・ワークショップ① 東京都立農業高等学校 三野 直子 主幹教諭 テーマ：消費者と生活者は同じひと～ 資産管理計画シミュレーション学習をとおして～	
	実践発表・ワークショップ② 元 新潟県立長岡岡陵高等学校 池山 純子 教諭 元 新潟県立長岡明德高等学校 渡邊 祐子 教諭 テーマ：『これであなたもひとり立ち』を使った金融教育の進め方～ 「カード社会の歩き方」を中心に	
≪高等学校分科会3≫ 定員：40名程度 進行・コメント 文部科学省初等中等教育局 西村 修一 教科調査官	実践発表・ワークショップ① 愛媛県立大洲高等学校 仙波 鉄也 教諭 テーマ：奨学金の返還と滞納	
	実践発表・ワークショップ② 鹿児島県立霧島高等学校 新留 崇夫 教諭 テーマ：長期型インターンシップ～おもてなし活動・ホテル実習～	
≪大学分科会≫ 定員：30名程度 進行・コメント 横浜国立大学 西村 隆男 教授	実践発表・ワークショップ① 金沢大学 松浦 義昭 専任講師 テーマ：大学生のための金融経済教育	
	実践発表・ワークショップ② 青山学院大学 小高 さほみ 非常勤講師 テーマ：教職課程における金融教育	

実践発表（約25分）のあと、発表に関連する内容でのワークショップ（約65分）を行います。

FAX応募欄

※は必ずご記入ください

FAX番号：03-6431-9938

切り取らずにこのままFAXしてください

●ご希望の分科会※ 高等学校分科会1 高等学校分科会2 高等学校分科会3 大学分科会

● 付属プログラム「日本銀行見学」（8月10日<月>開催）
希望する（13:30～） 希望しない
希望する（15:00～）

● お名前※ _____ (ふりがな _____)

● ご職業※ 教員（学校名： _____ ご担当教科： _____)
教育委員会指導主事（ご所属先： _____)
教職を目指す大学生・大学院生（学校名： _____)

● ご連絡先 勤務先 ご自宅 TEL※ — — 日中ご連絡のつきやすい
 ご住所※ 〒 _____ 電話番号をご記入ください

メールアドレス _____ @ _____

● 都道府県の金融広報委員会から委嘱された「金融・金銭教育研究校」または「金融教育研究グループ」に所属しておられますか？
はい いいえ